

新連載執筆のねらいと執筆者紹介

「日本語教育と海外伝道」

大内泰夫

天理教の日本語教育をテーマに研究してきたこと、また自らの日本語教育の実践や経験をもとに連載を進めていきたいと考えている。第二次世界大戦後、二代真柱の海外巡教以来、現地の二世、三世への縦の伝道を考える上で始まったと言える天理教の日本語教育ではあるが、現在では海外の拠点にある教会の子弟や信者子弟をおぼに引き寄せて信条教育も行うものと、青年会・婦人会の海外人材派遣のように海外布教の現地で行うものと天理教における日本語教育は多様化している。それらの現場での経験や教員養成にも携わってきた経験をもとに、おぼでの日本語教育、そして海外で行われる文化活動としての日本語教育について紹介し、考察を加えていきたいと思っている。日本語教育関係者や語学教育関係者だけでなく、幅広くいろいろな方に読んでいただき何かの参考になれば本望である。

大内泰夫（おおうち やすお）

天理大学外国語学部朝鮮学科卒業（1984年）、韓国延世大学校言語研究教育院語学留学（1995年）、放送大学大学院文化科学研究科総合文化プログラム（文化情報科学群）修士（学術）課程修了（2006年）。天理大学別科日本語課程勤務（1986年～1994年）、天理日仏文化協会出向（1990年～1992年）、天理教語学院（1994年～現在）天理大学別科日本語課程から天理教語学院まで日本語教育に従事し、その間、語学教育へのパソコンの利用やヴィゴツキーの社会的構成主義に基づく授業のデザインなどを研究・実践。現在、天理教語学院日本語教育センター主任。

『グローバル天理』年間購読のご案内

原則的に新年度は1月号からとなっております。購読料については、送料のみの実費負担です。申し込みは、封書、FAX、メールでお願い致します（お電話での申し込みはご遠慮下さい）。毎月の希望冊数と、氏名（フリガナも）、郵便番号、住所、電話、FAX、E-Mail、職業をお知らせ下さい。申し込み受付後に振込み用紙を送付致します。切手・現金でのお支払いはご遠慮くださいますようお願い致します。振込みを確認後、発送させていただきます。

送料（ヤマト運輸メール便）

全国一律、A4（角2）厚さ1cmまで（10冊まで）82円でお届けします。

11冊以降は164円になります。

【例】

毎月1～10冊購読 82円×12カ月＝984円

毎月11冊～購読 164円×12カ月＝1,968円

問い合わせ先：

〒632-8510 奈良県天理市植之内町1050
天理大学 おやさと研究所「グローバル天理」編集部
FAX 0743-63-7255
E-Mail: oyaken@sta.tenri-u.ac.jp

日本移民学会第28回年次大会に参加

尾上 貴行

2018年6月23日、24日の両日にわたり南山大学で開催された標記大会に参加した。1991年に創立された日本移民学会では、日本から海外への出移民、移住者のホスト国での適応、日系移民社会、他国から日本への労働者や留学生、日本における多文化共生など、日本人のみならずヨーロッパ、南北アメリカ、アジアの人々の移動に関して多種多様な研究が行われている。

初日となった23日の午後には「スポーツ×移民×映像～移民研究はどんなプレイができるか」をテーマとした大会シンポジウムが行われた。日本に在住する日系ブラジル人を扱った映画『サンゴヨン★サッカー』と『イッポン～完璧な技』の上映の後、この映画のプロデューサーと出演者、またスポーツ社会学の研究者などが登壇し報告したのちに、フロアからの質問も交えて移民とスポーツというテーマについて様々な視点から活発な意見交換が行われた。

24日の午前中は4つの会場にわかれ、自由論題報告として各会場で3、4名の研究者が発表を行った。筆者はその一人として、「日系人の文化活動とニューヨーク社会—ニューヨーク天理文化協会を事例として」という題目で報告する機会を与えられた。この報告では、ニューヨーク天理文化協会の様々な活動を紹介した上で、ニューヨーク社会へ果たす文化的・社会的役割や意義について、またニューヨークに在住する日本人のネットワーク形成への貢献などについて言及し、文化活動が多様な背景を持つ人々の共存へいかに貢献しうるかについて考察を行った。

午後には出版記念企画「日本移民学会『日本人と海外移住—移民の歴史・現状・展望』の書評会」と4つのラウンドテーブル「国立国会図書館の活用—憲政資料室の日系移民関係資料について」、「ハワイ元年者150周年を考える」、「増え続ける『介護移民』—日本の『ニューエスタカマー』の課題とその行方」、「ドキュメンタリー *And Then They Came For Us* 上映会&ディスカッション」が行われ、各会場で活発な議論が行われた。また最後に大会開催校企画としてシンポジウム「教育・研究・地域との連携」が行われ、日本とブラジルの共同研究プロジェクトとして森林資源利用科学からの事例、南山大学や上智大学におけるプロジェクトの事例などが紹介された。

『グローバル天理』
合本のご案内

2010年から2017年に出版された『グローバル天理』の合本を頒布しています。これは各1年分（12号分）を1冊にまとめ、簡易製本したものです（頒価は200円）。

研究所事務室に直接お越しいただくか、郵送にて頒布しています。

合本はご注文を受けて製本しておりますので、研究所事務室にお越しの際は、必ず事前に電話、FAX、もしくはEメールでご連絡ください。

（裏表紙に連絡先が記載されています。）